

3. 11地震津波災害から3年目の被災地訪問



・3月11日のあの日から、3年目の春がやってきました。

・もし、あの日あの時の10分前、20分前に戻ることができるのなら、誰もが、避難しよう、逃げよう、と考えるのではないのでしょうか。

・あの日あの時、あの人が逃げてくれていたなら、と今も考えている方々がたくさんおられるのではないかと思います。



・私たちはこのたびの大津波で、あまりにも多くの命を失いました。

・その悲劇を繰り返さないために、海辺で大きな地震があったなら、警報が出なくても、「とにかく高台に逃げる」ということを身体に刻みこむ必要があります。

・それが未来の10分前、20分前になるのです。

東北大災害科学国際研究所主催の
記念シンポジウムの中で見られた
印象的なフレーズ(3月9日)

名取市関上の追悼集会でハト風船を飛ばす人々(3月11日)

宮教大が学校版DMAT

設立準備災害時、教職員派遣

東日本大震災を教訓に、宮城教育大(仙台市)が大規模災害時に被災地の学校を手助けする「災害派遣学校支援チーム(DSAT)」の設立を進めていることが8日、分かった。



教育委員会の協力を受け、宮城県を先始めに南海トラフ地震で被災が想定される地域の教育委員会とも連携、各地にDSATを派遣し、全国的なネットワークを目指す。

宮教大によると、災害時に活動する教職員組織は、兵庫県教委の震災・被災地支援医療チーム(DMAT)など、大規模災害や事故が起きた際、重傷者の救命治療に当たるチーム。英語の頭文字を取ってDMATと呼ばれる。専門的な訓練を受けた医師、看護師、事務職員らで構成。1995年の阪神大震災で初期医療体制の遅れが指摘されたことから、2004年に東京都が東京DMATを発足。05年には厚生労働省により日本DMATが発立された。東日本大震災では各地のDMATが活動した。

自力再建支援 充実を 仙台でシンポ 復興の課題探る



東日本大震災の復興課題を探るシンポジウム「被災地から」の国のかたちを止す」が8日、仙台市青葉区の東北大川

うすれば命を守れるか考えなければならぬ」と指摘した。

「子どもは再生の担い手」

東日本大震災からの復興を担う子どもたちを育て、被災地の再生につなげる大切さを知ってもらおうと、宮城教育大などは9日、仙台市青葉区のTKPガーデンシティ仙台でフォーラム「考えよう、子どもたちの未来を拓(ひら)く学校と地域の再生支援」を開いた。

約70人が来場した。宮教大の見上一幸成が講演し「学校への支援と教員養成を通じて、子どもたちが困難から立ち上がる能力を伸ばし、持続可能な地域づくり



子どもたちによる地域再生の活動報告があったフォーラム

に貢献したい」と述べた。地域再生に向けて子どもたちが活動した実例の報告もあった。吉成小の児童6人は市内の仮設住宅を取材して冊子を作った経過を劇で発表。中山中の生徒3人は地元商店街を活気づける集客アイデアを提言した。同大は震災を教訓に、大規模災害時に被災地の学校で避難所運営などを手助けする「災害派遣学校支援チーム(DSAT)」の設立準備を進めている。



震災教訓、教育現場に還元

東日本大震災の教訓を今後の学校現場に生かすシンポジウム「大震災と学校・教育を考えるつどい」(県教組主催)が9日、仙台市青葉区のフォレスト仙台で開かれた。震災を経験した教員の証言や被災した児童生徒の行動記録から、防災教育の重要性を再確認した。

県内の教育関係者や研究者ら約70人が参加。沿岸部の学校の教員が震災当時の状況を報告した。

巨理町荒浜小の渡辺隆教諭は「避難訓練の経験などから、子どもと保護者が津波に巻き込まれないように学校にとどまらせるという判断ができ、結果的に多くの命を助けられた」と振り返った。

宮教大の千葉保夫非常勤講師(健康教育)は県内の公立小中学校で死亡・行方不明となった児童生徒261人に関し、関係機関から取り寄せた行動記録などを基に被災状況を調査、分析した。

児童生徒のうち60人は下校中に被災したとみられるといい、千葉講師は「下校中に災害が起きると、学校も保護者も子どもにも目が届かない状況になり得る。ど

仙台でシンポ・フォーラム

河北新報2014. 3. 10. みやぎ総合版の記事

河北新報2014. 3. 9. 第2面トップの記事



宮城教育大学も教育復興フォーラムを開催(3月9日)



関上の日和山



日和山で祈る人々



灯籠を並べるボランティアの人々

2014. 3. 11.

名取市関上地区の現状



“笹かまぼこ”の佐々直本店は当分の間解体せずに日和山の横でがんばるとのこと

← 消防署の前に掲示された避難経路図

旧北上川左岸から見た日和山と門脇地区



復旧間近かの湊小学校



石巻 2014. 3. 12.

2011. 3. 11 東日本大震災
津波の高さ ここまで 2.1m ↓

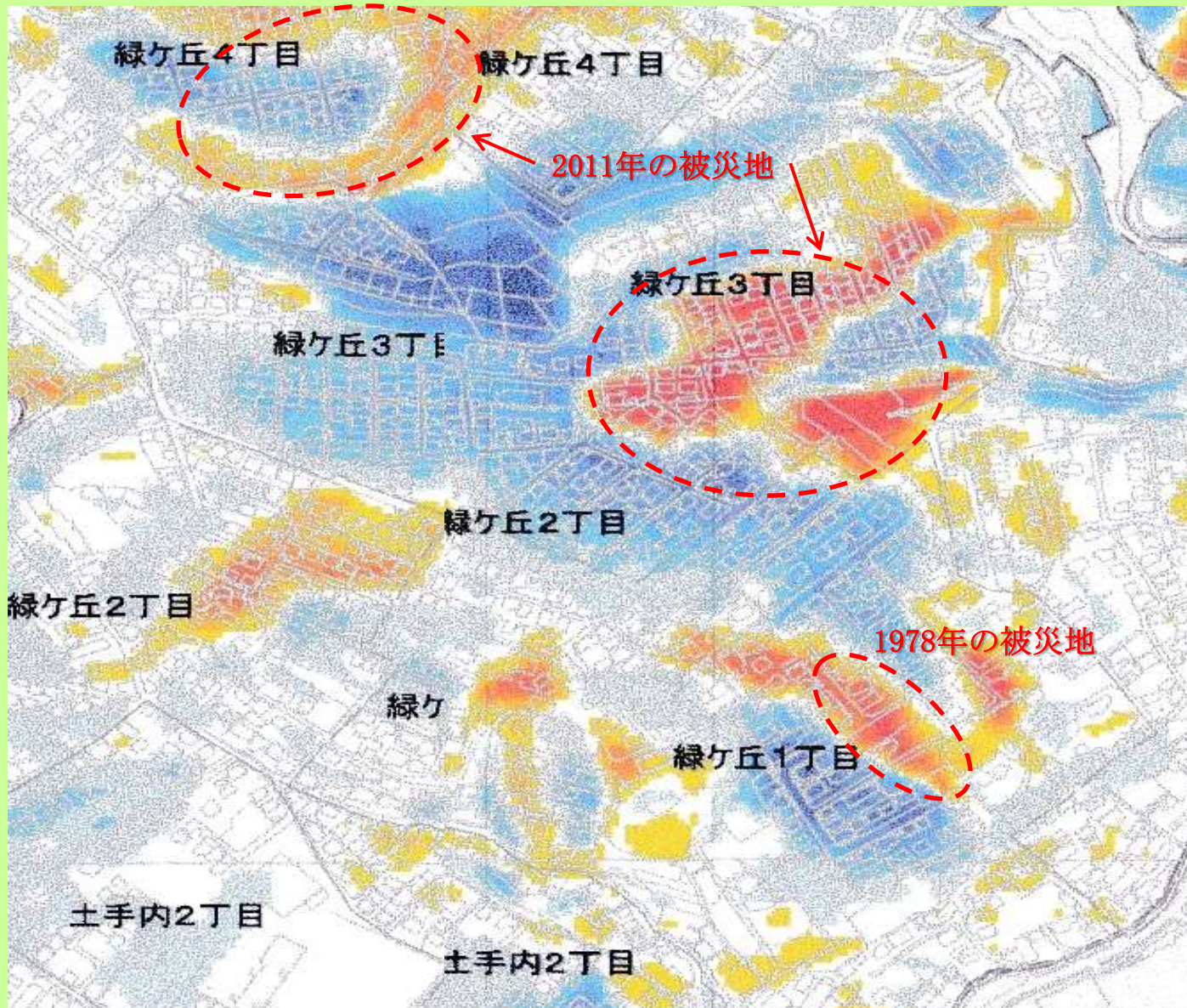


JR運賃表



津波避難マップ

資料の発掘：仙台市宅地造成履歴等情報マップ(切土・盛土図)



太白区緑ヶ丘

原図：1/10,00

仙台市2013年3月作成

凡例

〔切土・盛土区分〕

	切土30m以上
	切土20~30m
	切土15~20m
	切土10~15m
	切土7~10m
	切土5~7m
	切土3~5m
	切土1~3m
	切土1m~盛土1m
	盛土1~3m
	盛土3~5m
	盛土5~7m
	盛土7~10m
	盛土10~15m
	盛土15~20m
	盛土20~30m
	盛土30m以上

斜面崩壊のほとんどは盛土部分か切り盛り境界付近で発生していることが理解できる。